



# 宮司プレス 九十二号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十六年二月三日

◇宮司の柴田です。

遅まきながら、平成二十六年の清々しき新年を寿ぎ、謹んで、お慶びを申し上げます。

社報「産土（うぶすな）」では、新年の御挨拶を申し上げさせて頂きましたが、迅速

（じんそく）な宮司プレスの発行という課題が克服されておりません。 悪しきルーティン（手順）が定着し、さらには、新年の一月号が、昨年の九月号に引き続き二回目の休刊となりました。 私の不徳の致すところでありまして、猛省をしつつの発行であります。

しかしながら、古（いにしえ）は、大晦日が一年の締めくくり、そして立春を正月と考えていたようですので、本日の発行は、

苦肉（くにく）の言い訳となりますが、ぎりぎり年内発行ということになります。 お待たせしました、宮司プレス九十二号の発行です。

◇今年も九百通あまりの年賀状をお出ししました。 表の住所と御芳名については、文明の利器である「からくり印刷機」、パソコンの「筆ぐるめ」というソフトを大いに活用

させて頂きました。 しかし、裏面は、水茎（みずくき）の跡が、麗しくはありませんが、墨書させて頂きました。 全部で十六種類、

自筆したものを、三十枚ないし四十枚程度、オフセットの印刷機、輪転機で印刷しました。 「大和心」「神喜地喜人喜」「則天去私」「日清日新日進」「天長地久」「柏葉春」「日々是好日」「四海生春風」「賀新正」「延寿万歳」「三感四恩」「明浄正直勤務進進」「数鳥の大和心を人間はば 朝日にはふ 山桜花」「神信心」「神道といふは人々日用の間にあり」の十五種類です。 今年は特に、「則天去私」「神喜地喜人喜」を一番多く印刷しました。 則天去私（そくてんきよし）とは、夏目漱石が残した言葉で、人としての本来の姿を意味します。 目には見えないけれど、大切なかけがえのない大自然に身をゆだね、私利私欲をかなぐり捨てて生きていくことです。 まさに、雨奇晴好（うきせいこう）、降るもよし晴れるもよしという、とらわれない心で、何事も対処していくことですね。 内憂外患（ないゆうがいかん）の世相であれ

ばこそ、則天去私の心を生活の心掛けにしたものです。 「神喜地喜人喜」、これは、私の造語（ぞうご）であります。 私の御奉仕の指針、モットーで、神様を喜ばす心で地域の人々も笑み栄える社会であってほしいと願いつつ、鳥居の内の祭典行事は言うまでもなく、鳥居の外の地域社会へも微力ながら尽力するという神様とのお誓いでもあります。

◇先月の十六日に、下関市中央倫理法人会のモーニングセミナーに参加しましたところ、今年の決意を一文字に託して、色紙に「書初め」という事でありました。 今年は、一月二日に「書初め」をさせて頂きましたので、「午年（うまどし）」にあやかり、迷うことなく「馬」と書きました。 （上の写真です。） （下の写真は、一月二日の書初めです。） これは、誤字（ごじ）誤植（ごじよ）ではありません。 さて、何と読むでしょうか。 実は、馬の漢字を左右引っくり返して書いた字を「左馬（ひだりうま）」と言います。 馬は、左から乗ると絶対に倒れないという言い伝えがあります。 そのことが、



「左うちわ」、「右に出る者がいない」に通じ、縁起が良いとされるのです。馬は、人が引かなければなりません、この左馬は、馬が運であるとか客を引っ張ってくる、「千客万来」なのです。開運招福を象徴する字なのです。午年は、経済が不況におちいりやすい年回りです。昭和二十九年の世界恐慌、平成二年のバブル崩壊などですね。この左馬という縁起のいい字にあやかり、益々繁盛してほしいという願いを込めて認(した)めたのです。B4の紙に、その「左馬」とその説明を書いたものをコピーしてお分けしています。お守りになるかどうかかわかりませんが、よろしければどうぞ。

◇神様が、お喜びになられる心、「則天去私」の心で、「神喜地喜人喜」、地域もそこに暮らす人々も喜び笑み栄え、運命共同体としての地域社会になりますように、つとめてまいらねばと思いを新たにしています。本年も大神様の御加護によりまして、幸多く、さらにご繁栄ご隆昌でありますことを心からお祈りもうしあげまして、遅まきながら、新年の御挨拶と致します。

◇一月の祭典行事報告

▼歳旦祭

\*本宮 一月一日 午前八時半 祭典後、新年拝賀

\*田の首八幡宮 \*一月一日午前一時

\*福浦金刀比羅宮 \*一月一日午前一時半

\*貴布禰神社(老町) \*一月一日午前六時半

▼元始祭 \*一月三日 午前九時

▼会社安全祈願祭参拝 \*一月四日〜六日

▼下関三井化学輸送部会参拝 \*一月八日

▼彦島はってんクラブ参拝 \*一月九日

▼福浦金刀比羅宮初月次祭 \*一月十日

※上の写真 ※下の写真 六連島八幡宮



▼彦島七神社巡り \*一月十日、十六日

※北九州リビング新聞社主催バスツアー、

宮司同乗しガイド

▼六連島八幡宮歳旦祭 \*一月十一日

▼どんど焼き

\*本宮 一月十二日

\*田の首八幡宮 一月十三日

▼早起会参拝 \*一月十二日

▼山口県漁協下関南風泊支店養殖わかめ実

行組合火入式 \*一月十六日

▼朝粥会 \*一月二十一日※七草粥を頂きました

▼防災訓練 \*一月二十四日

※上の写真 早起会

※下の写真 防災訓練



◇一月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◇維蘇志会新年会 \*一月十二日

◇早起会新年会 \*一月十二日

◇田の首八幡宮新年会 \*一月十三日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇下関支部三役会 \*一月十八日

◇山口県神社総代会役員会、顧問参与会 \*一月二十二日

◇支部総会 \*一月二十三日

◇山口県神社庁教学研究部 \*一月二十三日

◇財団法人伊勢神宮式年遷宮奉賛会山口

県本部解散式 \*一月二十九日

▼西ロータリークラブ

◇例会 \*一月八、十五日

▼講演活動

◇下関市倫理法人会モーニングセミナー

にて講演 \*一月二十二日

▼下関市中央倫理法人会モーニングセミナー

\*一月十六日、三十日

▼教誨活動(美称社会復帰促進センター)

◆集合教誨(男女) \*一月二十七日